

挽き板 ヘリンボーン フローリング

施工上のご注意

この商品は、一般住宅用および土足用(内装)のフローリングです。
屋外及び重歩行にはご使用になれません。また、屋内でも洗面室やトイレ等、水回りにはご使用になれません。

(1) 施工前の準備

(1) 梱包内容

① フローリング 製品仕様

・本商品は、右図のように実の向きが異なるA・Bタイプ
二種類のフローリングで構成されています。
1梱包内に二種類が20枚ずつ同梱されています。



(2) 使用する接着剤

必ず、下記接着剤をご使用ください。

〈ウレタン樹脂系接着剤〉

メーカー名	商品名	使用量の目安	可使用時間	作業温度
朝日ウッドテック株式会社	グルーWG-902X2(カートリッジタイプ・760mℓ/本 2本入)	1.5坪/本	—	—
	グルーWG-902X6(カートリッジタイプ・760mℓ/本 6本入)	1.5坪/本	—	—
	グルーWG-902X12(カートリッジタイプ・760mℓ/本 12本入)	1.5坪/本	—	—
	グルーWG-910S・(W)(缶入りタイプ10kg/缶)※	1.5坪/kg	40分	夏(S):15~35℃ 冬(W):5~25℃
	グルーWG-915S・(W)(缶入りタイプ15kg/缶)※	1.5坪/kg	—	—
アイカ工業株式会社	JW-400K(4)(ジャンボカートリッジタイプ・760mℓ/本 12本入)	1.2坪/本	—	—
	JW-400NF(H)(2Wayマルチパック・600mℓ/本 12本入)	1.5坪/本	—	—
コニシ株式会社	KU928C-X(カートリッジタイプ・760mℓ/本 12本入)	1.5坪/本	—	—
オート化学工業株式会社	オートアドハーネダジャンボ(カートリッジタイプ・850mℓ/本 12本入)	1.7坪/本	—	—
	オートフロアスター600(フィルムパック・600mℓ/本 10本入)	1.2坪/本	—	—

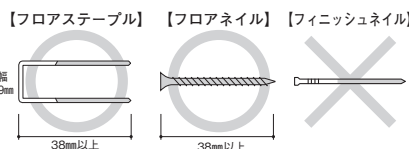
※商品番号末尾Sは夏期、Wは冬期使用タイプです。缶入りタイプを使用の場合は、ノズル付容器に入れてご使用ください。

〈変成シリコン接着剤〉床暖房ご使用の場合は、上のウレタン接着剤をご使用ください。

メーカー名	商品名	使用量の目安
朝日ウッドテック株式会社	WG-AH102(カートリッジタイプ・760mℓ/本 2本入)	1.5坪/本
積水フーラー株式会社	#55-S(ジャンボカートリッジ・アプリック・フィルムパック 各760mℓ/本 12本入)	1.5坪/本

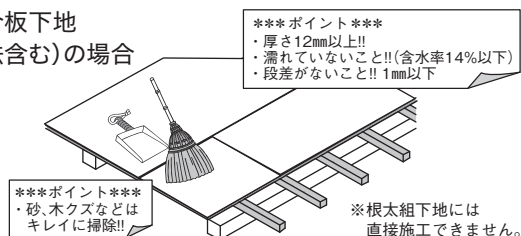
(3) フローリング固定用の釘

フローリング固定用の釘は必ずフロアステーブルまたはフロアネイルをご使用ください。
フィニッシュネイルは、固定する力が弱いため、絶対にご使用にならないでください。



(2) 下地の確認

(1) 捨て張り合板下地(ネダレス工法含む)の場合



(2) 二重床下地の場合

二重床メーカーの施工説明書を読み、注意事項を守って正しく施工してください。

(3) 床暖房を設置する場合

床暖房放熱体メーカーの施工説明書をよく読み、注意事項を守って、正しく施工されているか確認してください。なお、二重床に床暖房を設置されている場合は、ベースパネル(パーティクルボードなど)に捨て張り合板が施工されています。この捨て張り合板の接続箇所が、ベースパネル(パーティクルボードなど)の接続箇所より、100mm以上離れているか確認してください。
床暖房放熱体の「通湯(漏洩)・通電テスト」・「試運転」など、機器の工事および検査が完了してから施工してください。

(3) 施工の手順

手順1 美しく、バランスよく並べる

(1) 仮並べ

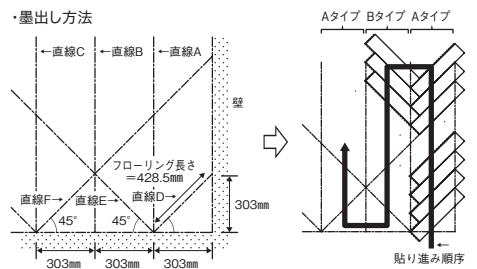
ポイント

・施工する前に必ず仮並べを行い、色の濃淡・杢柄などが部分的に片寄らないように、全体の色柄のバランスを確認してください。
天然木を使用しているために、1枚1枚の色柄が異なります。

手順2 墨出し・位置決め(一般用)

(1) 墨出し・割り付け

・墨出しは直線A・B・C、さらに各直線から45°の角度で直線D・E・Fを引きます。各直線を目安にして、フローリングの頂点が各直線の交点と一致するように実施してください。
・墨出し方法
・割り付けは、実の向きが異なるA・Bタイプが直交するように配置します。割り付け・貼り進み順序は、Aタイプから1列分を貼進め、Bタイプを折り返して貼り進める順序です。



ポイント

・フローリング貼り始めは、壁面からの貼り始めを推奨しております。
間取り中央から左右二方向に貼り進めていく場合には、メン実同士の突き合わせの列が生じますので、「雇い実(厚4.3mm×巾8mm×長さ85mm)」をおすすめします。

(2) 貼り始めの位置決め

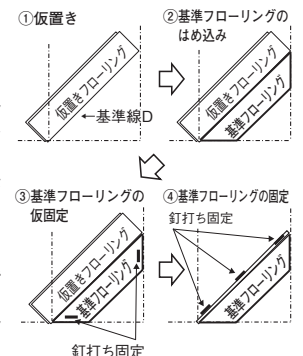
・貼り始めがずれると施工するにつれ、スキ間が発生するおそれがあるため、一枚目の位置決めが重要です。
右記の通り、仮並べをしながら施工を進めることを推奨致します。

① 直線Dに合わせてフローリングを仮置きします。

② 仮置きしたフローリングに基準となるフローリングの実を合わせ、直線に合わせてフローリングを設置します。
(基準となるフローリングは予め裏面に接着剤を塗布してください。)

③ 直線に合致したことを確認し、基準となるフローリングの両端をステーブルで固定してください。
(ステーブルでの固定は、巾木等で隠れる箇所を実施してください。)

④ 仮置きしたフローリングを取り外し、長辺方向オン実3箇所にてステーブルを打ち込んでください。



手順3 しっかりと接着剤を塗布する(一般用)

(1) 接着剤の塗布



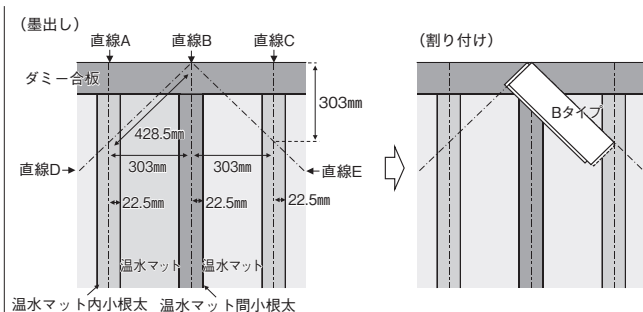
・接着剤は、1枚につき3箇所、フローリング裏面に直接塗布してください。
・下地にフローリングを貼り合わせる前に、下地の砂・クズは掃除してください。

〈床暖房ご使用の場合〉

手順2 墨出し

(1) 墨出し・割り付け

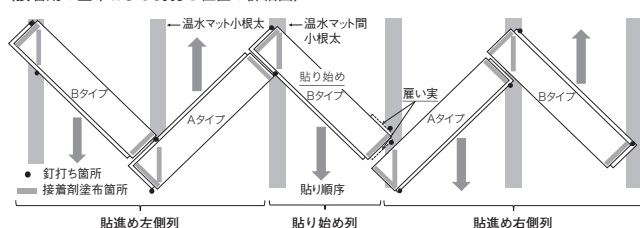
・温水マット小根太上に確実にフローリングを施工するために、温水マット間小根太から墨出しを実施してください。
(初期位置は、温水マットの真ん中に設定してください。マット1枚の場合: マット真ん中の小根太部、マット2枚の場合: マット間の小根太部)。
・墨出しは、各小根太巾45mmの中心22.5mmの箇所直線A・B・Cを引きます。さらに直線Bから45°の角度で直線D・Eを引きます。各直線を目安にして、フローリングの頂点が各直線の交点と一致するように実施してください。
・割り付けは、実の向きが異なるA・Bタイプを直交するように配置します。割り付け・貼り進み順序は、Bタイプから1列分を貼進め、Aタイプを両方向に貼り進める順序です。



手順3 しっかりと接着剤を塗布し、釘で固定する

床暖房用として施工する場合

(接着剤の塗布および釘打ち位置の詳細図)



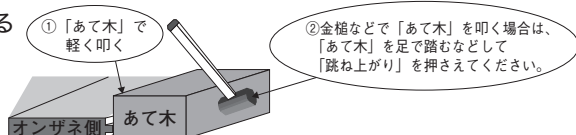
- ・接着剤の塗布は、詳細図の通りフローリングの両端に直接塗布してください。また、小根太上へも塗布してください。
- ・下地にフローリングを貼り合わせる前に、下地の砂・クズは掃除してください。

貼り始め列メン実への雇い実の嵌め込み

- ・フローリングの貼り進めは、貼り始め列から左右二方向への貼り進めとなり、貼り始め列との接合部は、メン実同士の突き付けとなるため、フローリングと別梱包の雇い実を嵌め込み、釘打ち固定してください。(詳細図 雇い実嵌め込み部分を参照ください)

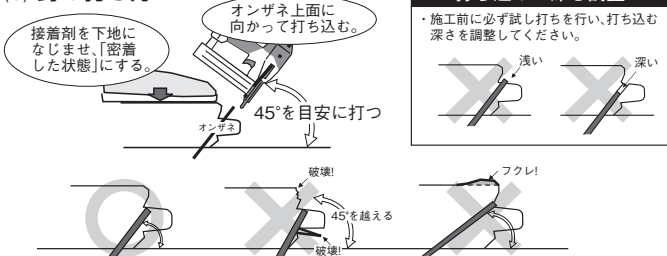
手順4 スキ間なく寄せる

(1) 寄せる



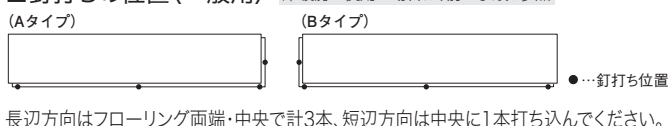
手順5 しっかりと釘で固定する

(1) 釘の打ち方



- ・放熱体の「釘打ち可能部分」以外では、絶対に釘・仮り釘(フィニッシュネイル含む)などを打たず、施工用接着剤のみで施工してください。「釘打ち可能部分」以外に釘打ちしますと、「温水パイプ」や「電気配線」を打ち抜いて、漏水・漏電の原因になります。
- ・フローリング上での作業時は、表面に傷や汚れをつけないように、十分にご注意ください。
- ・釘を立てて打つと、オンザネが破壊し、フローリングの間にスキが発生する場合があります。

■釘打ちの位置(一般用) 床暖房ご使用の場合は、前の手順3参照



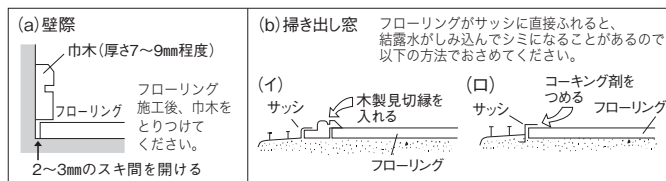
長辺方向はフローリング両端・中央で計3本、短辺方向は中央に1本打ち込んでください。

●床暖房までに必要な期間

- ・接着剤が硬化するのに必要な期間を、十分に取ってから床暖房の運転を開始してください。(5℃以下で6日以上、5～15℃で4日以上、15℃以上で2日以上)

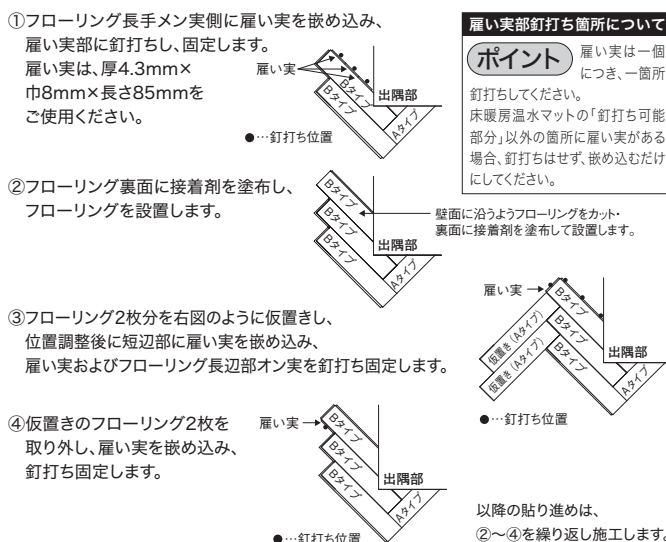
手順6 キレイにおさめる

(1) おさめ方



手順7 複雑な間取りの場合

- ・複雑な間取りで壁面から貼り進めた際、下図のように貼り進み順序から外れる箇所が想定されます。下記の手順に沿って施工することをおすすめします。



手順8 施工後も美しく(養生)

養生

- 施工後は直射日光を避け、傷や汚れを防ぐために、養生シートを被せ、養生テープで固定してください。その上に合板、養生ボードを敷いて十分に養生してください。なお、養生シートとフロアの間に、ゴミなどが無いようにフロア表面を、必ず掃除して下さい。
- 養生シートは必ず、壁際、サッシ際まで被せてください。養生シートが被っていない場所は、直射日光にあたり、色が変わる場合があります。
- 養生シートは平面(フラット)タイプをご使用ください。凹凸(エンボス)タイプの養生シートを使用すると、艶ムラや養生シートの跡が残ったりしますので使用しないでください。
- 養生テープは当社別売の養生テープ(YT-T3)をご使用ください。梱包用テープなどを使用した場合は、粘着力が強く、フロアの化粧面を破損させたり、粘着剤が残ったりする可能性があります。

ワックスについて

フリーワックス仕様になっておりますので、ワックスがけは必要ありません。

- ・ワックスがけを希望される場合、ワックスがけは可能です。但し、ワックスを塗布されますと、表面の平滑性・艶の変化などが発生し、フローリング表面の美観を損ねることがあります。また、フローリングの表面がワックスの被膜となるため、傷の付きにくさ、抗菌・抗ウイルス性等の塗膜性能が発揮されなくなります。

ワックスがけをされる場合は、下表に記載のものをご使用ください。

ワックスがけをされる場合は、ワックスに記載の使用上の注意をよく読んでからご使用ください。また、事前に試し塗り等で仕上げの確認を行うことをお勧めします。

ポイント

- ・ワックスは木質床用水性樹脂ワックスを使用してください。
- ・ロウタイプは使用しないでください。

(推奨ワックス)

UV塗装品			
メーカー名	ワックス商品名	業務用	家庭用
藤リンレイ	ハイテックフローリングコートつや消し20	○	—
	ハイテックフローリングコート	○	○